

黒檜山(赤城)山行報告

【山行日】2019年 5月 6(月) 曇り時々晴れ
【集 合】岩舟支所 P AM 5:00
【費 用】マイカー2台 : 1,200円
【メンバー】CL: 鈴木 SL 大西、安西、岩淵、菊池、
島田、清水、関、関口、五月女、福島、藤原
【コースタイム】岩舟支所 P5:00=おのこP
6:45/7:05~黒檜山登山口 7:20~黒檜山
8:45/8:55~駒ヶ岳 9:50~鳥居峠 11:10~小沼
11:30~地藏岳 12:10/12:55~八丁峠 13:20~
おのこ P13:45/14:00=あいのやまの湯
14:35/14:50=岩舟支所 P16:20



GW の月例山行第3弾は、上毛三山の盟主「赤城山」の最高峰黒檜山から駒ヶ岳、地藏岳と縦走する計画にした。岩舟支所を5時といつもより1時間早く出発し、7時前におのこ駐車場に着いたが車が結構止まっていた。準備を整えたらトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。大沼の東岸に沿って車道を歩き、三差路の手前にある黒檜山登山口に着く。小休止し、衣服調整をして登山道に取りつく。いきなり急登になり、木や岩につかまりながら登ると展望の良い尾根上に出る。眼下に大沼や地藏岳の美しい眺めが広がり、小休止して呼吸を整える。岩稜の尾根を登って行くと、また展望の良い所に出て富士山の標識が立つが、今日は雲が多く富士山は望めなかった。

林床に低いクマザサで覆われた自然林の急坂を登り、傾斜が少し緩くなると駒ヶ岳への分岐に出る。分岐を左に黒檜山へ向かって平坦な尾根を進み、三等三角点がある黒檜山山頂に着く。山頂は平らで広く、山頂標識が立つが眺望は無く、記念写真を撮ったらこの先の絶景ポイントに向かう。ほんの数分歩くと展望所に着き、天気の良いと谷川連峰や上州武尊山、浅間山などの展望が得られるが今日は眼下に近くの山々や渋川市街が見られるだけである。それでも初めて登った方達は、百名山の山頂に登れたと喜んでいて、パイナップルや菓子などをいただきながら、展望を楽しんだら黒檜山まで戻り駒ヶ岳に向かう。分岐まで戻り直進するとすぐに南峰で、「御黒檜大神」が祀られた祠や鳥居が立っている。



南峰直下で左に花見ヶ原キャンプ場への道を分け、右に急坂を下って行く。木段の土が削れ、歩きにくい道を滑らぬよう慎重に下って行く。ひたすら木段を下って行くと緩やかな鞍部に出て、ベンチ



がある大ダルミだ。ここから木段の道を登り返し、小ピークを越えてさらに登ると駒ヶ岳山頂に出る。ここからヤセ尾根を10分くらい進むと大洞への下降点になり、右に鉄製の階段を下って行く。階段をいくつか下りると、樹林帯の九十九折れの道を下り大洞近くの車道へ出る。車道を左に向かい、覚満淵手前のトイレに寄る。皆さんスッキリして元気を取り戻し、覚満淵を縦断して鳥居峠に出る。鳥居峠から小地藏岳の北から西側を巻くように進み、小沼の北側に出る。小沼で昼食にするか

聞くと、予定通り地藏岳に登ってから食べたいと言うので地藏岳に向かう。

車道を歩いて八丁峠まで行き、ここから広い階段の登山道を登って行く。高度が上がると小沼や長七郎山が見え、エメラルドグリーンの小沼がとても美しい。急登を頑張るとアンテナが近くなり、まもなく地藏岳山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、今日歩いて来た黒檜岳から駒ヶ岳、大沼や覚満淵が見渡せ大感動。山頂標識で記念写真を撮り、風が当たらない場所を見つけてランチタイムとする。今日の山ご



飯は天ぷら蕎麦だが、天ぷらは夕日岳の帰りに買ったコシアブラとコゴミの天ぷらだ。

ピーミソや漬物などが並び賑やかなランチを楽しんだ。お腹が満たされたら、もう一度山頂からの展望を楽しんでから下山する。

下山は八丁峠まで往路を戻り、八丁峠から大洞に向かって降りて行く。車道を横切り大沼畔の道を歩き、沢を渡って階段を登ると駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。途中、あいの山の湯の直売所に寄り、野

菜やお花を買って岩舟支所に向かった。今日は雲が多く眺望はいまいちだったが、三座を縦走してロングコースを登り切り、皆さん大満足の山行となった。